

管弦楽

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約160人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル

検索

©上野隆文



指揮



©平館平

横山 奏

1984年札幌生まれ。桐朋学園大学と東京藝術大学大学院にて指揮法を勉強。2018年、指揮者の登竜門「第18回東京国際音楽コンクール」にて第2位&聴衆賞を受賞。東京フィルをはじめとする数多くのプロ・オーケストラと共演している。趣味は登山。NHK-FM「石丸謙二郎の山カフェ」にシーズンゲストとして登場し、登山とクラシック音楽に関する素敵なエピソードを紹介している。

司会



塚本江里子

東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院オペラ科修了。これまでに数多くの演奏会やオペラ、ミュージカルに出演。ワークショップリーダーとして音楽ワークショップの制作にも携わる。2015年よりBSフジ「ボンキッキーズ」にて歌のおねえさんとして出演、司会やナレーションも務める。また論語指導士の資格を取得し子ども論語ワークショップを開催。ジャンルを越えて活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。

知ってますか?

10月1日は「国際音楽の日」です



1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程

開催校

1月10日(水)

山県市立美山中学校

合同開催校

山県市立伊自良中学校

山県市立いわ桜小学校

山県市立美山小学校

メインイラスト：タカハシマホ

月 日()

学校

令和5年度 学校巡回公演事業

東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演



「学校巡回公演事業」小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。(舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)・独立行政法人 日本芸術文化振興会)



文化庁

一月一日の
ワークショップからみんなで
準備してきました



ワークショップ、オープニングの様子。
少ない人数で迫力ある演奏に釘付け!



弦楽器代表「ヴァイオリン」。
音の出る仕組みを学びます。



管楽器代表「ホルン」。
奥深い音色にうっとりです!



打楽器奏者は色々な楽器を演奏します。ワーク
ショップでは音楽室の楽器を借用しました!



ワークショップでは「第九」の
合唱をドイツ語で歌う練習を
しました。



また、本公演で会おうね!
歌の練習頑張ってるね!



今日、いよいよ本番です!

プログラム Program

▶オープニング

♫ ロッシーニ 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より
“スイス軍の行進”

▶楽器紹介

♫ ロジャース 『サウンド・オブ・ミュージック』より
ドレミの歌

▶指揮体験

♫ ブラームス ハンガリー舞曲
第5番

▶オーケストラと身体を動かしてみよう!

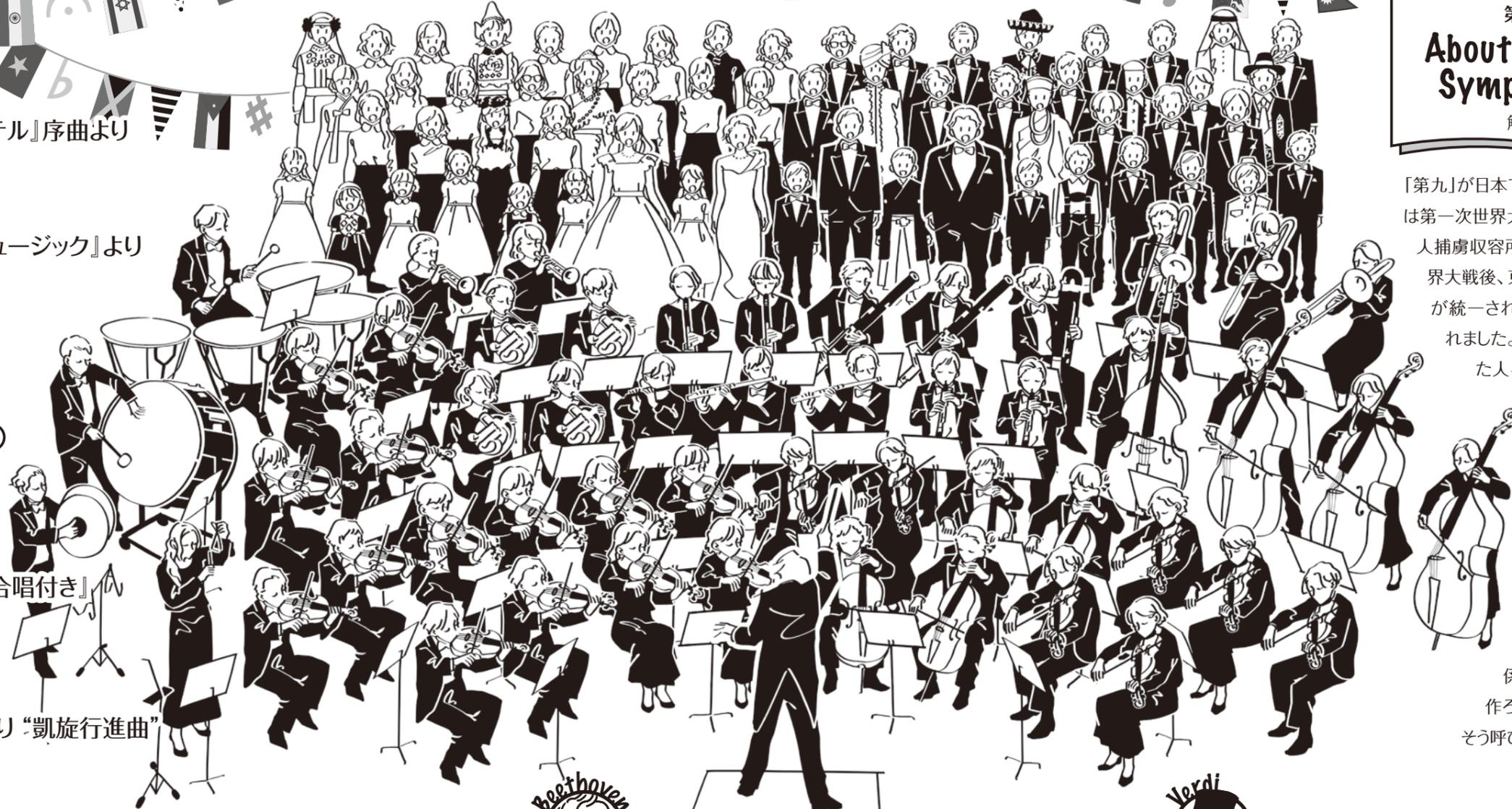
藤山一郎 新しい朝が来た
服部 正 ラジオ体操第一

▶「第九」を歌おう!

♫ ベートーヴェン 交響曲第9番『合唱付き』
第4楽章より

♫ 各校校歌の演奏

♫ ヴェルディ 歌劇『アイーダ』より“凱進行進曲”



第九について About Beethoven's Symphony No. 9

解説=鉢村 優

「第九」が日本で初めて全曲演奏されたのは第一次世界大戦中、徳島県にあるドイツ人捕虜収容所でのこと。また、第二次世界大戦後、東西に分断されていたドイツが統一された際にも「第九」は演奏されました。かつて敵としていがみ合った人々が声を合わせて歌い、共に耳を傾けることで、同じ地球に生きる仲間として認めあったのです。このように「第九」は、バラバラになった人々の心をつなぎ、平和を願う音楽として歌い継がれてきました。人種も、生まれも、考え方も関係なく、友愛に満ちた世界を作ろう—「第九」は今も私たちにそう呼びかけています。

曲について Program Notes

解説=柴田克彦



ジョアキーノ・ロッシーニ (1792-1868)
歌劇『ウィリアム・テル』序曲より“スイス軍の行進”

イタリアの作曲家ロッシーニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍を描いたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗って駆けていくような行進曲が、さっそうと繰り広げられます。



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827)
交響曲第9番『合唱付き』第4楽章

ドイツの作曲家ベートーヴェンが1824年に完成したこの曲は、オーケストラ音楽だった交響曲に歌を取り入れたユニークな作品。“苦しみから喜びへ”というテーマが大きなスケールで描かれています。声楽が加わる第4楽章は、“人間愛による平和”を歌った有名な部分。メインの旋律は「喜びの歌」の名で親しまれています。



ジュゼッペ・ヴェルディ (1813-1901)
歌劇『アイーダ』より“凱進行進曲”

イタリアを代表するオペラの作曲家ヴェルディが約150年前に書いた悲劇からの1曲。エチオピア軍を破って国に戻って来たエジプトの將軍ラダメスらが皆に迎えられる、華やかな場面の音楽です。トランペットに導かれて一行が歩みを進めるこのダイナミックな行進曲は、スポーツなどのイベントでもおなじみになっています。